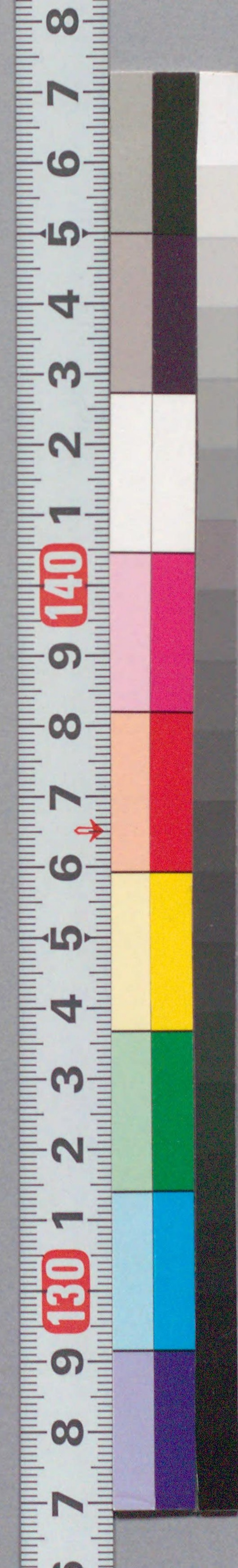
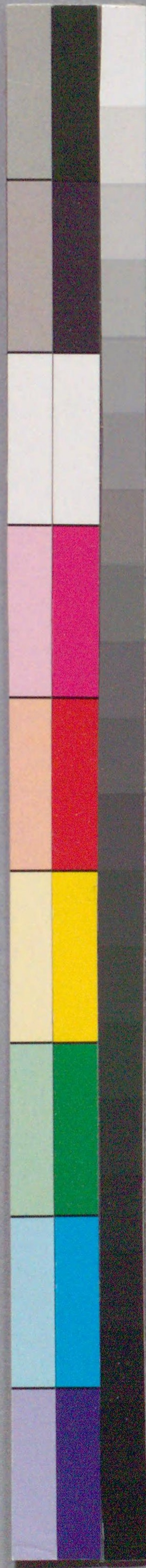


花笑顔相指南枝

207  
357







花笑顔相指南枝

207  
357

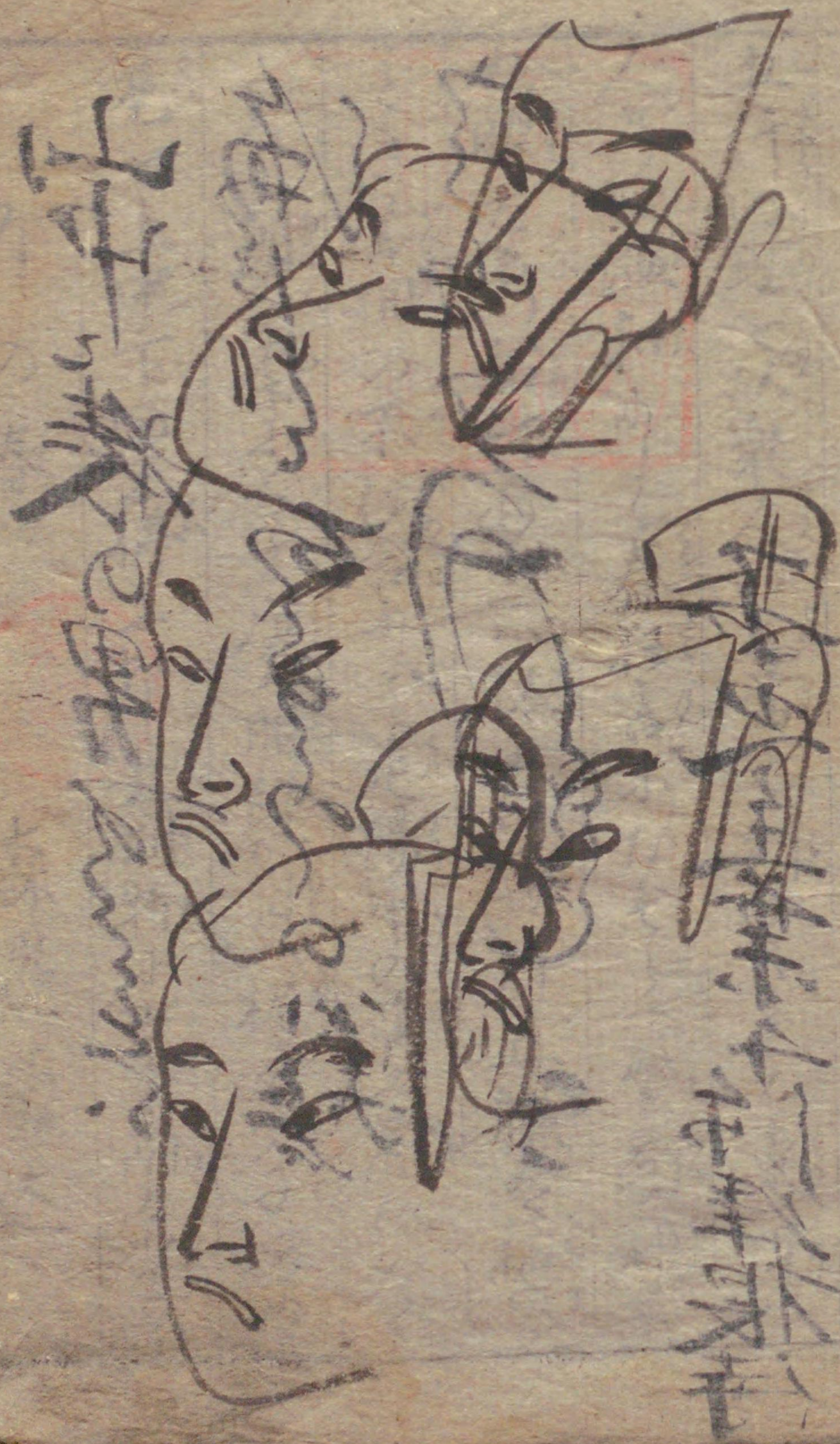
寛政七年

国立国会図書館 花笑顔相指南枝：3巻 207-357

ガラス使用









宙の男の笑ふ  
 海も可なり  
 子也全葉千行根待

夫新板の冊子ハ五牒とい一冊と相法ハ

五行の理とい衆人の善悪と判とことと東方ハ

人乃心溢和めて春狂言小なぞと云面部不

九曜を善の祐紅ゆまハ体小曾我乃五臓を祐成

と善相の不仕合めて是陽中の陰之眉ひさ

なるハ朝比奈小く鷹眼鼠目ハ梶糸父子と云

是と上中下の三停小并三冊物小古事附名

外の春



本林羅亭述





















大上上

上上上

上上上回

上上上

上上上

上上上日

上上上

葉知矢上上丁木知  
 亥樽滿津日昇丁不  
 加目多九滿曹宇  
 葉知昇津根侍

























6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30

川柳子

さかめりよ  
くやーやびこ

の大かこと  
せんざいのそめん

大ゆかり子司  
をるまらちく

してさげこの  
てあひあんて

もめのとん **せらゝ相**  
めよめのこせん

りかきよあびと  
めのととあけてま

つけくることあれが  
わとよくあるめりのよ

まごろくを  
とあるまらこ **きりき相**  
とくまらあ

つめてはまらちや  
かえやあめんも  
よりありのせー

つあてけこあまや  
あんまのあつれぬ

をちのべーとのい  
つけあれがさい

あてひごろあま  
まらちのちりさ

あんがいのけのまの  
めらんいあひも

よくあひあけて  
せらあがらるこ

うねらうせんが  
こんあことごら

こま  
あひさる



いさけとのま  
あかめーま  
あかん

とあまあ  
とらてらち

あかん

あかん

あかん

あかん

おく相

あかん

あかん

あかん

あかん

あかん

あかん

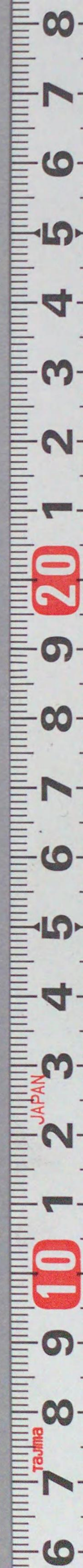










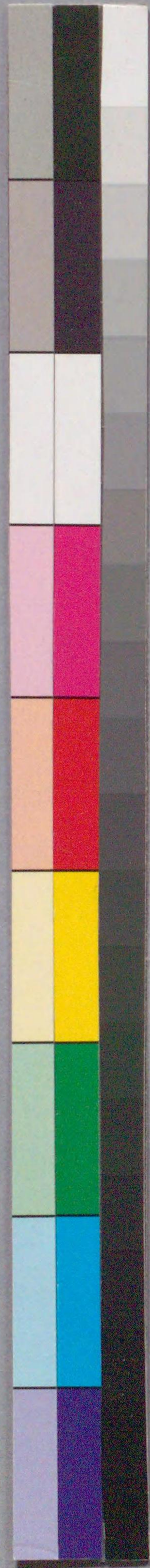








Handwritten text in a cursive script, likely a form of Japanese calligraphy or a specific dialect. The text is arranged in several lines across the left page of the open book. The right page is blank.

























207  
357

伊家流

羽  
元  
の  
花  
相  
指  
南  
枝



明  
朝  
の  
花  
の  
笑  
い  
顔  
福  
妻  
相  
と  
々



森羅亭戯作

改  
下  
金





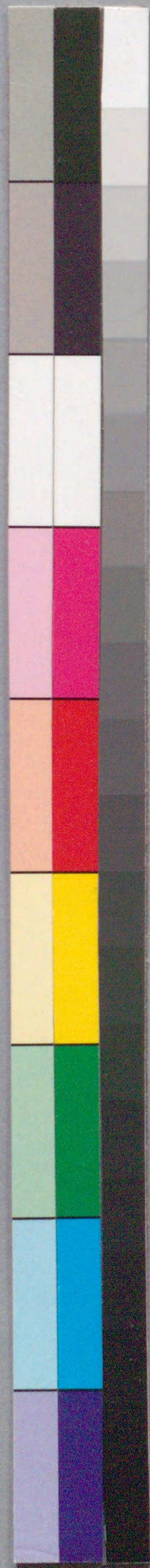


国立国会図書館 花笑顔相指南枝 : 3巻 207-357

ガラス使用







国立国会図書館 花笑顔相指南枝 : 3巻 207-357



ガラス使用

